

【昼の部】14時開演 (13時30分開場)

ソロ: 奏でられる物語

軽妙な表現の中に人の一生を描いたクープラン、
旅のイメージを鮮やかに蘇らせたイベール、
レニエの一節をエピグラフに記したラヴェル。
それぞれの物語を通して40年の演奏生活をふりかえる。

● エリック・サティ (1866~1925)

童話音楽の献立表 (1913)

コ・クオの少年時代 (1913)

● フランソワ・クープラン (1668~1733)

クラヴサン曲集 第11組曲 (1717) より
昔の吟遊詩人たちの年代記

クラヴサン曲集 第13組曲 (1722) より
百合の花開く／葦／胸飾りのリボン／フランスのフォリア又はドミノ／煉獄の魂

● ジャン・フィリップ・ラモー (1685~1764)

皇太子妃 (1747) 他

● ジャック・イベール (1890~1962)

物語 (1922)

● モーリス・ラヴェル (1875~1937)

亡き王女のためのパヴァーヌ (1899)

高雅で感傷的なフルツ (1911)

【夜の部】19時開演 (18時30分開場)

連弾: 6人組誕生!

1920年1月、アンリ・コレが6人組を命名した。

サティ「組み合わされた3つの小品」、

ミヨー「屋根の上の牡牛」、

オーリック「アデュー・ニューヨーク」など

100年前にシャンゼリゼ劇場で初演された作品を中心に
タンゴあり、フォックストロットありの愉快なプログラム。

● ジュルメース・タイユフェール (1892~1983)

映像 (1918) ■

● ルイ・デュレ (1888~1979)

2つの小品 (1916) ■

● アルテュール・オネグル (1892~1955)

7つの小品 (1920) ★

● エリック・サティ (1866~1925)

組み合わされた3つの小品 (1920) ■

● フランシス・プーランク (1899~1963)

連弾ソナタ (1918) ■

● ジョルジュ・オーリック (1899~1983)

アデュー・ニューヨーク (1920) ■

.....

● ダリウス・ミヨー (1892~1974)

ボザリー夫人のアルバム (1933 / 朗読: 青柳いづみこ) ◆

屋根の上の牡牛 (1920) ■

青柳いづみこ

演奏活動40周年記念企画

● ゲスト [夜の部] : 高橋悠治



1980年のデビュー以来、
演奏・執筆でドビュッシーをきわめたピアニストが
6人組とポスト・ドビュッシー、
共通の水脈を持つ18世紀音楽を道連れに
新たな地平に向かう。

2020

1.11(土) ●浜離宮朝日ホール

●チケット 全席指定

一般 4,500円 [前売り] / 5,000円 [当日]

学生 2,000円

昼夜セット券 8,000円

●チケットの問い合わせ先

東京コンサート 03-3200-9755 (平日 10:00 - 18:00)

東京コンサートウェブチケット <http://www.tokyo-concerts.co.jp>

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く 10:00 - 18:00)

●主催 朝日新聞社 / 東京コンサート

●後援 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)

* 曲目・出演者は変更になる場合があります。

* 教学前のお客様のご入場はご遠慮いただいております。託児サービスをご利用ください。

イベント託児・マザーズ (要予約) 0120-788-222